

**1. 単元名** 「世界の国々を調べよう～ゲストティーチャーへの質問を通して～」**2. 指導観**

- 今日の社会は、日常生活の至る所にグローバル化が進展しており、環境問題、資源・エネルギー問題など様々な課題を抱えている。そして、さまざまな課題を解決するために、変容する国の様子を自ら調べ、国の特色を理解する能力を身につけることが望まれている。

本単元では、国家規模の地域的特色をとらえる適切な主題を設けて追究し、世界の地理的認識を深めさせるとともに、国家規模の地域的特色をとらえる視点や方法を身につけさせることをねらいとしている。

学習内容としては、主題を設定し、必要な資料を収集・選択して調査活動を行う。その際、ゲストティーチャーからも情報を入手し、その結果をレポートにまとめて発表する。今日の世界情勢は我が国も含めて様々な要因から刻々と変化をとげており、変化する国や地域に関心をもち続けることは何より大切である。このように、国家規模の地域的特色に視点をあて、自ら認識できるようになることは大変に意義深いものとする。

- 本単元の授業に先立って、小学校の社会科学習におけるアンケートを行った。その結果、単元「我が国と経済や文化などの面でのつながりが深い国(特にアジアの国々について)の人々の生活の様子」について、日本のことについては学習しているが外国については全く学習していないことが判明した。しかし、総合的な学習の時間に約 52%の生徒がアジアの国々について学習していることがわかった。その一方で、出身小学校によって取り上げた国や学習時間にばらつきがあることも判明した。

本学級の生徒は、班学習において、それぞれの班員がリーダーを中心に話し合いをしたり、調べ学習を行ったりして、意欲的に学習をしている。しかし、4月に行われた県内学力診断テストでは、地理的分野については、「世界・日本の地域構成」「身近な地域・県の調査」いずれの単元においても、県平均通過率を下回っており、基礎的・基本的内容が十分に身につけていないといえる。

本学級の生徒は、前時までに中華人民共和国とアメリカ合衆国を調べ、人口、生活・文化、工業、農業、他の国々との結びつきの視点から国の特色をとらえている。そこで、これまでの学習で身につけた国の地域的特色をとらえる視点や方法を用いて、自ら主題を設定し、ゲストティーチャーを招いて調べるという学習活動は、生徒たちの興味・関心を喚起し学習意欲を高めることにつながると考える。

- 本単元の指導にあたっては、国の特色を理解するために、国の特色をとらえる視点や方法を使って、自ら調べる主題を設定し、国の特色が分かる適切な情報を収集する。さらに、調べたことをレポートにまとめ、発表することをねらいとしている。そのために、まず、調べる国を決めさせ、その国の基本データを収集させる。その際、地図帳を活用して、統計資料から国の基本データを集めさせたり、土地利用図から国の特色を調べさせたりして、国の特色を調べる視点や方法を身につけさせる。次に、インターネットや書籍から国の情報を集めさせる。その際、教科書 p103 の「世界の国々を調べる視点の例」を取り上げ、国の特色を調べる視点を身につけさせたい。また、調べて分からなかったことやもっと調べてみたいことを挙げさせ、次時のゲストティーチャーへの質問事項とさせる。そして、ゲストティーチャーを迎え、ゲストティーチャーへの質問を通して、国の特色をとらえる情報を収集させる。その際、司会に進行させながら班員に質問をさせる。ここでは、準備した質問事項以外に、ゲストティーチャーからの回答を通して新たに生じた疑問などを質問をさせ、調べる国の理解を深めさせたい。さらに、集めた情報をレポートにまとめさせる。その際、調べる国の視点を班で分担させ、A4の用紙1枚に主題図やグラフなどを活用させてまとめさせる。また、レポートの裏面に発表原稿を作成させ、調べた内容を整理させる。最後に、班ごとに調べた国を発表させる。その際、発表を聞いている生徒には、国の特色をメモに取らせながら発表を聞かせて、情報の共有化を図りたい。

### 3. 目標

- 世界の国々に対する関心を高め、その調査に意欲的に取り組み、国家規模の地域的特色をとらえようとしている。 【社会的事象への関心・意欲・態度】
- 地理的事象から課題を見だし、それを環境条件や人々の営み等と関連付けて多面的・多角的に追究することができる。 【社会的な思考・判断】
- 地図や統計その他の資料を収集し、その中から情報を適切に選択して活用するとともに、調べた国の地域的特色を追究し考察した過程や結果をまとめ、発表することができる。 【資料活用の技能・表現】
- 調べた国の地域的特色を理解するとともに、国家規模の地域的特色をとらえる視点や方法を理解し、それらの知識を身につけている。 【社会的事象についての知識・理解】

### 4. 計画（6時間）

次	配時	学習内容・方法	主な評価規準 〈評価方法〉	評価基準		
				A	B	
本時	1	2	1. 調べる国を決め、基本データを集める。 ・人口 ・面積 ・主な輸出品・土地利用 2. 資料をもとに必要な情報を集め、質問を考える。 ・情報収集 ・質問作成	<b>資</b> ：地図帳を使って、調べる国の基本データを集めることができる。 〈学習プリント分析〉	土地利用図と統計資料から調べる国の特色をつかむことができる。	統計資料から調べる国の特色をつかむことができる。
	2	1	1. ゲストティーチャーに質問をして、情報を集める。 ・インタビュー ・日本の伝統文化の紹介	<b>関</b> ：国の特色を理解するために、ゲストティーチャーに意欲的に質問をする。 〈学習プリント分析・様相観察〉	返答の内容を理解し、さらに発展させて質問をしている。	事前に用意した質問を行い、問題を解決しようとしている。
	3	2	1. 調べた内容をレポートにまとめる。 ・レポート作成 2. 発表原稿を作成する。 ・発表原稿作成	<b>資</b> ：調べた内容をまとめて、レポートを作成することができる。 〈レポート分析〉  <b>思</b> ：調べた内容をもとに、発表原稿を作成することができる。 〈発表原稿分析〉	調べた内容を地図やグラフを効果的に使ってレポートにまとめることができる。 様々な視点に関連付けて、発表原稿を作成することができる。	調べた内容を文章を中心にレポートでまとめることができる。  レポートをもとにした発表原稿を作成することができる。
	4	1	1. 班単位で発表する。 ・フィジー ・パキスタン ・東ティモール ・インドネシア ・ミャンマー ・タジキスタン 2. 発表内容を聞き取る。 3. 学習の振り返り ・自己評価 ・お礼状作成	<b>知</b> ：各班が発表した内容を聞き取り、学習プリントに記入することができる。 〈学習プリント分析〉	国の特色がわかるように、発表内容を整理して学習プリントを作成することができる。	発表した内容を学習プリントに記入することができる。

5. 本時 平成 21 年 10 月 7 日 (水) 第 5 校時 2 年 教室にて

(1) 本時の指導観

前時まで生徒は、地図帳や書籍などを使って、調べる国の基本データを集めている。そして、調べていくなかで疑問に思ったことやよく分からなかったことを質問事項としてまとめている。

本時は、ゲストティーチャーとの交流や質問を通して、国の特色をとらえる情報を意欲的に集めさせることをねらいとしている。そこで、まず、教科書を使って国を調べる視点を復習させる。次に、学習のめあてを確認させ、ゲストティーチャーの紹介をする。その際、準備した質問以外に、新たに生まれた疑問点などもたくさん質問をするように指導する。そして、ゲストティーチャーへ質問させ、国の特色となる情報を集めさせる。その際、司会の生徒に進行させ、その国の言葉で挨拶と自己紹介をさせた後、事前に準備した質問をさせる。また、質問終了後、ゲストティーチャーへのお礼として、日本の伝統文化を紹介させる。最後に、質問内容と回答を発表させ、国を調べる視点を確認する。その際、次時からレポートを作成することを告げ、レポート作成に必要な資料を図書室やインターネットから集めるように指示を出す。

(2) 主眼

○国の特色を理解するために、ゲストティーチャーに意欲的に質問をする。【関心・意欲・態度】

(3) 準備

- ①教科書 ②地図帳 ③東南アジアの掛地図 ④学習プリント  
⑤日本の伝統文化を紹介するために各班で準備するもの

(4) 過程

学習活動・内容	準備	手立て(○)と評価(◇)	形態	配時(分)
1. 国を調べる視点と方法を確認する。 (視点)・自然環境 ・人口 ・地域間の結びつき ・生活や文化 ・資源と産業 (方法)・統計資料 ・土地利用 ・インターネット	① ②	○教科書 p 103 を使って、国を調べる視点を確認させる。	一斉	7
2. 本時のめあてを確認し、ゲストティーチャーの紹介を聞く。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">めあて</span> ゲストティーチャーへ質問して、国の特色となる情報を集めよう。	③ ④	○ゲストティーチャーを紹介する際、掛地図を使って国の位置を示す。 ○準備した質問以外に、新たに生じた疑問なども積極的に質問するように指導する。	一斉	5
3. ゲストティーチャーに質問をして、国の特色となる情報を集める。 ・その国の言葉で挨拶と自己紹介 ・質問 ・日本の文化の紹介	④ ⑤	◇国の特色を理解するために、ゲストティーチャーに意欲的に質問をする。(学習プリント・様相観察)	班	28
4. 質問内容と回答の発表を聞く。 ・気候と年中行事 ・主な産業	④	○机間巡視をして、国の特色を理解するために模範となる質問をしていた生徒に発表させる。	一斉	5
5. 次時の学習の予告を聞く。 ・レポート作成			一斉	5

